

# 北海道国際輸送プラットフォーム推進協議会の設立について

北海道開発局 港湾空港部

北海道開発局と札幌大学は「国際物流を通じた道産品輸出促進研究会」（以下、研究会）を平成 23 年 10 月に発足し、公益団体及び民間企業の協力のもと、道産品の輸出拡大に向けた「北海道国際輸送プラットフォーム（略称 HOP）」構築事業を進めてきました。

本研究会は札幌大学と北海道開発局のみを構成員としており、公益団体及び民間企業の参加者はオブザーバーとしての立場で参加し、様々な意見をいただいていたいました。

しかし、HOP の取組が多方面に展開する中で、民間企業等がオブザーバーという立場のままでは、主体的な活動を行っていくという課題が出てきました。

そこで、北海道国際輸送プラットフォームのさらなる発展に向け、各参加者が主体性・機動性をもって協議を行える場として、「北海道国際輸送プラットフォーム推進協議会（以下、協議会）」を設立することとなりました。

平成 25 年 9 月 27 日、「第 1 回北海道国際輸送プラットフォーム推進協議会」が開催され、協議会員による規約の了承により、協議会が正式に発足しました。

協議会員は、札幌大学・北海道開発局・北海道で構成する事務局 3 者、北海道経済産業局・北海道経済連合会・フード特区機構を始めとする経済団体・官公庁 10 者、ヤマトグループや北海道テレビ放送、金融機関を始めとする民間企業 18 者の計 31 者で構成され、また、札幌大学経営学部の千葉博正教授が会長として選任されました。



第 1 回協議会開催状況

第 1 回協議会では、自己紹介を兼ねた各協議会員の取組事項の紹介の後、今後の協議会の進め方や各種取組の進捗状況等について議論されました。(株)北洋銀行からは、HOP1 サービスを活用した商談会の開催報告、北海道ブランディング(株)からは B to B マッチングサイトとの連携についての報告がありました。その他、様々な業種の協議会員からの提案があり、今後新たな事業展開が期待されます。

今後、協議会では、HOP を活用した輸出貨物を創貨する取組（シンガポール等におけるテレビ・ネットショッピングの取組、サンプル輸送の取組等の関連事業）の実施に向けた検討を中心に行う予定です。



HOP ロゴマーク

そのため、協議会内にネットショッピング G や海外おみやげ宅配便 G 等の検討グループを設置し、各取組を、スピード感をもって進めることとなりました。また、HOP サービス利用者の中から HOP 拡大に貢献する企業を表彰する制度を創設することや、HOP のロゴマークを決定しました。

本協議会の設立を機に、北海道産品のさらなる輸出拡大を図るべく、各者一体となった取組を今後とも進めて参ります。

番号	表題	概要
1)	ネットショッピング G	共同購入のような仕組みで小口貨物を複数個詰め合わせ低価格で海外へ配送する。
2)	国際発注システム G	インターネットを通じて海外事業者が道産品を直接購入できるシステム構築。
3)	メニュー提案も含めたセット販売 G	メニュー提案に合わせた食材をセットにして飲食店、個人に販売する。
4)	海外おみやげ宅配便 G	海外観光客に輸送費込みの土産物セットを販売し、自国まで宅配輸送する。
5)	商談会 G (各商談会により複数の可能性有り)	商談会前にバイヤーにサンプル輸送で商材を見せる。HOP1 を活用した価格提示等 HOP1 機能を活用した商談会の実施。
6)	テレビショッピング G	シンガポールでのテレビ放送機能を活用したテレビショッピングの実施。
7)	スイーツ事業者振興との連携 G	経産局が進めるスイーツ事業者振興と連携したサンプル輸送事業等を進める。
8)	B to B マッチングサイトとの連携 G	サイト上でマッチングした企業間の取引を HOP1 サービス等を通じて支援

各関連事業の検討グループ（案）